

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども女性相談課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2384
	取組方針	配慮を要する子どもへの支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ヤングケアラー支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者（ヤングケアラー）」のうち、学業や交友関係への支障、進路への影響、体力・健康に不安が生じている者を把握し、必要な支援を行う。					
年度概要	ヤングケアラー・コーディネーターの配置 訪問支援サービス（家事・育児・同行支援） 小中高校生へのリーフレット配布 関係機関への研修による周知啓発 配食見守り事業					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	子ども・若者育成支援推進法	ヤングケアラ

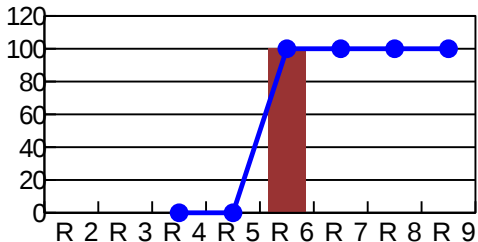
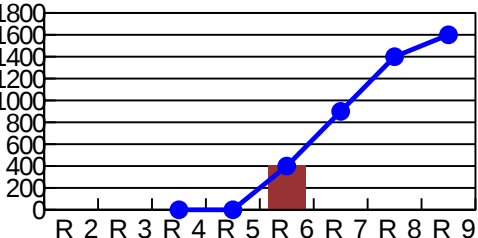
【事業の目的】

対象（何を）	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者（ヤングケアラー）
意図（どのような状態にしたいか）	ケアが必要な家族がいる状況においても、子どもらしく生活できるよう、ヤングケアラーを早期に把握し支援につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
周知啓発活動の回数	回	0	0	100	90	90
研修会等の参加数	人	0	0	665	300	300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	ヤングケアラー対応率	%	目標値	0	0	100	100	100
			実績値	0	0	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	成果指標の目標値を達成できた。	(目標達成度) 100.0%						
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	訪問支援延べ回数	回	目標値	0	0	400	900	1,400
			実績値	0	0	403		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	成果指標の目標値を達成できた。	(目標達成度) 100.8%						
		(得点) 35点						

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	9,027	11,610	14,451
(事業費)	[千円]	0	5,263	7,750	10,591
(職員人件費)	[千円]	0	3,764	3,860	3,860

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 6 年度	ヤングケアラー・コーディネーターの配置 訪問支援サービス（家事支援・同行支援） 小・中・高校生へのリーフレット配布 関係機関への研修による周知啓発	5，512千円 2，007千円 231千円	総額 7,750	
			特定 財源	国 4,427
				県 599
				市債 0
				他 0
			一般財源 2,724	
令和 7 年度	ヤングケアラー・コーディネーターの配置 訪問支援サービス（家事・育児・同行支援） 小中高校 生へのリーフレット配布 関係機関への研修による周知啓発 配食見守り事業	5，673千円 2，840千円 218千円 40千円 1，820千円	総額 10,591	
			特定 財源	国 6,019
				県 855
				市債 0
				他 0
			一般財源 3,717	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ヤングケアラーのさらなる周知・啓発
ヤングケアラーの実態把握

- ・周知啓発活動の継続と対象拡大
- ・ヤングケラー把握のための調査の実施
- ・ヤングケアラーと思われる子のいる家庭への支援の充実